



「ほっかいどう遺産WAON」で 北海道遺産の保全活動を支援

「ほっかいどう遺産WAON」(イオン北海道株式会社発行の電子マネー)は、北海道初のご当地WAONカード。ご利用額の一部が、道内各地の北海道遺産の保全・活用の取組に役立てられています。

**新登場
スマホのWAON**

ほっかいどう遺産WAON携帯応援カードPRイベント

残高
¥2025

全国約153万6千カ所
(2025年7月現在)で
ご利用いただけます。



【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 北海道遺産協議会事務局

〒060-0041

札幌市中央区大通東2丁目3番地1 第36桂和ビル7階

9:00 ~ 17:00(土・日曜日、祝日、年末年始は休み)

TEL 011-218-2858 / FAX 011-232-4918

MAIL info@hokkaidoisan.org



サポーター 募集の ご案内

サポーターの募集とお申込み方法

北海道遺産の情報発信や各地域の遺産活動を応援して
くださるサポーターを募集しています。
皆さまのご支援をよろしくお願いします。

種類	年会費	備考
個人	1口3,000円 (1口以上)	北海道遺産協議会の活動の趣旨に賛同し 事業を支援する個人
団体	1口5,000円 (2口以上)	北海道遺産協議会の活動の趣旨に賛同し 事業を支援する法人などの団体

特典のご紹介(一部)

- 北海道遺産協議会会員証
- 情報紙
- 北海道遺産ピンバッヂ(入会時)
- イベント案内等

下記のアドレス、又は右のQRコードの
申込フォームよりお申込みいただけます。

<https://forms.gle/eqi5ZanrfjQZZUYY8>

*郵送又はFAX、お電話でのお申込みは

北海道遺産協議会事務局までご連絡ください。



北海道遺産



北海道遺産協議会公式ウェブサイト
<https://www.hokkaidoisan.org/>

Hokkaido Heritage
北海道遺産



北海道遺産の分布(全74件)

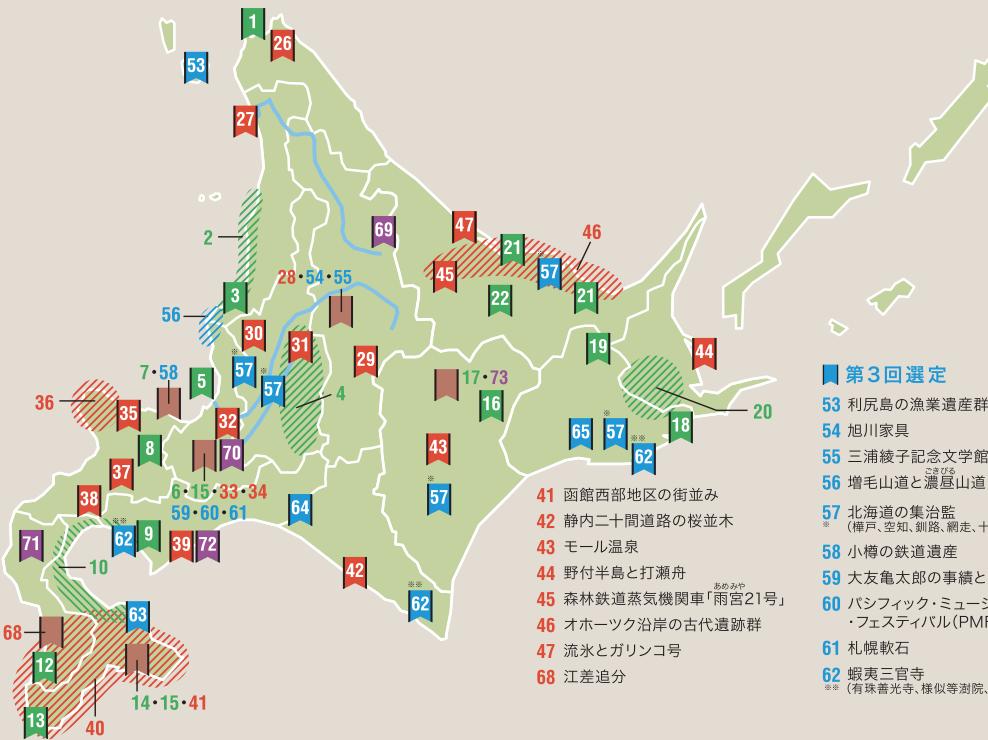
■ 第1回選定

- 1 横内港北防波堤ドーム
- 2 留萌のニシン街道
(旧佐賀製糸場、旧花田家番屋と生活文化)
- 3 増毛の歴史的建物群
(駅前の歴史的建物群と増毛小学校)
- 4 空知の炭鉱関連施設と生活文化
- 5 石狩川
- 6 北海道大学札幌農学校第2農場
- 7 小樽みなと防波堤
- 8 京極のふきだし湧水
- 9 昭和新山国際雪合戦大会
- 10 内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群
- 11 姥神大神宮渡御祭
- 12 上ノ国の中世の館
- 13 福山(松前)城と寺町
- 14 函館山と砲台跡
- 15 路面電車
- 16 蠶河ブリ
- 17 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群
- 18 霧多布湿原
- 19 摩周湖

- 20 根釧台地の格子状防風林
- 21 ワッカ/小清水原生花園
- 22 ピアソン記念館

■ 第2回選定

- 26 宗谷丘陵の周氷河地形
- 27 天塩川
- 28 旭橋
- 29 土の博物館「土の館」
- 30 雨竈沼湿原
- 31 北海幹線用水路
- 32 江別のれんが
- 33 開拓使時代の洋風建築
(時計台、農平館、清華亭など)
- 34 札幌苗穂地区の工場・記念館群
- 35 ニッカウヰスキー余市蒸溜所
- 36 積丹半島と神威岬
- 37 スキーとニセコ連峰
- 38 北限のブナ林
- 39 登別温泉地獄谷
- 40 五稜郭と箱館戦争の遺構



【北海道各地】

- 23 アイヌ語地名
- 24 アイヌ文様
- 25 北海道のラーメン
- 48 屯田兵村と兵屋
- 49 北海道の馬文化
(ばん馬、日高のサラブレッド、北海道和種馬など)
- 50 アイヌ口承文芸
- 51 サケの文化
- 52 ジンギスカン
- 66 千島桜
- 67 松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡
- 74 下の句かるた

■ 第3回選定

- 53 利尻島の漁業遺産群と生活文化
- 54 旭川家具
- 55 三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林
- 56 増毛山道と濃尾山道
- 41 函館西部地区の街並み
- 42 静内二十間道路の桜並木
- 43 モール温泉
- 44 野付半島と打瀬舟
- 45 森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」
- 46 オホーツク沿岸の古代遺跡群
- 47 流氷とガリンコ号
- 68 江差追分

- 63 しかべ間歇泉
- 64 むかわ町憩別の古生物化石群
- 65 北海道の簡易軌道

■ 第4回選定

- 69 しもかわの循環型森林文化
- 70 北海道米のルーツ「赤米」
- 71 今金・美利河の金山遺跡
- 72 仙台藩白老元陣屋
- 73 十勝三股の樹海

about

北海道遺産構想とは

掘り起された宝物を地域で守り、育て、活用していく中から新しい魅力を持った北海道を創造していく道民運動が「北海道遺産構想」です。

多くの北海道遺産には、北海道遺産に深く関わりながら活動する「担い手」の市民が存在し、官主導ではない北海道遺産構想の象徴となっています。

北海道遺産は手を触れずに眺めるだけのものではなく地域の中で活用しながら人づくりや地域づくり観光促進をはじめとする経済の活性化につなげていくことこそがこの構想の最大の狙いでもあります。

- 地域の宝物を掘り起こし、育成・活用する過程で地域づくりや人づくりを展開する
- 自分が暮らすまちや地域への愛着と誇りを醸成する
- 観光の促進をはじめ、地域経済の活性化へつなげる

北海道遺産協議会とは

1997年4月、北海道知事(当時)が「北の世界遺産構想」を提唱して以来、道府県内にプロジェクトチームや民間有識者による委員会が設置され、「北海道遺産構想」の具体化に向けた検討や遺産候補の掘り起こしキャンペーン、構想をPRするためのフォーラムなどを実施しました。そして、2001年に北海道遺産構想を中心的に担う民間組織として「北海道遺産構想推進協議会」が設立されました。

以来、協議会では、北海道遺産の選定、北海道遺産構想の普及・啓発、地域が行う保全・活用の取り組みへの支援などの事業を行ってきました。2001年10月に第1回の北海道遺産を決定・公表、次いで、2003年6月から第2回目の北海道遺産の選定を開始し、翌2004年10月に第2回選定分27件が決定・公表されています。

2018年12月にNPO法人格を取得、2019年4月から「特定非営利活動法人北海道遺産協議会」として新たな体制で活動を行っています。2018年11月に第3回選定分15件、2022年10月に第4回選定分6件と名称変更1件が決定・公表され、北海道遺産は総計74件となりました。

伊藤園・北海道伊藤園「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金による北海道遺産選定地域の自然環境保全、景観保全活動等に関する助成事業

「お茶で北海道を美しく。」 キャンペーンについて

伊藤園・北海道伊藤園「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金による助成活動

北海道遺産協議会の情報発信

広報媒体や写真、デザイン等の配布や活用に関するご依頼・ご提案は事務局まで



北海道が誇る豊かな自然、文化、そして人々の歴史をつなぐ「北海道遺産」をデジタルスタンプラリーで巡ろう! 対象スポットは全88箇所。GPSでスタンプを集めると抽選で豪華景品があたる!

SNS公式アカウント・
YouTubeチャンネル



北海道遺産フォト&短歌チャレンジ2024 グランプリ作品

短歌部門
読まずに残る
私の心に
歌詞
の上に
の句を



北海道遺産トートバッグ

